

<調査対象>

◎調査期間：平成28年11月下旬～平成28年12月上旬  
 ◎調査対象：当会情報連絡員（業界組合）58団体

（ 回答 47団体 ・製造業：31団体中22団体  
 ・非製造業：27団体中25団体 ）

<結果のポイント>

**IoTに対する認識について**

人口減少・労働力減少の背景から、中小企業においては人手不足や長時間労働等が発生しており、その対応策として、昨今“IoT”をはじめとする新しいIT技術の導入・活用により、経営力強化・生産性向上に取り組むことが課題となっている。そこで県内の中小企業者の“IoT”への認識を把握するため、業界組合に聞いてみたところ次のとおりであった。

○全業種では、「**関心がある**」が**40.4%**と最も多く、「とても関心がある」（10.6%）と合わせると**約半数が関心がある**とのことであった。ただ、IoTと自社の課題と捉えているかどうかでは、「**将来の課題**」と**考えている業界が多く**、「喫緊の課題」と考えているよりも「課題とは感じていない」の方が多かった。また、**IoTに取り組む上での課題**については、「**経営効果が分からない**」、「**コストが高い**」、「**社内に人材がない**」、「**何に取り組んでいいか分からない**」が多く、本格的な導入に入る前の初期段階での課題が多かった。

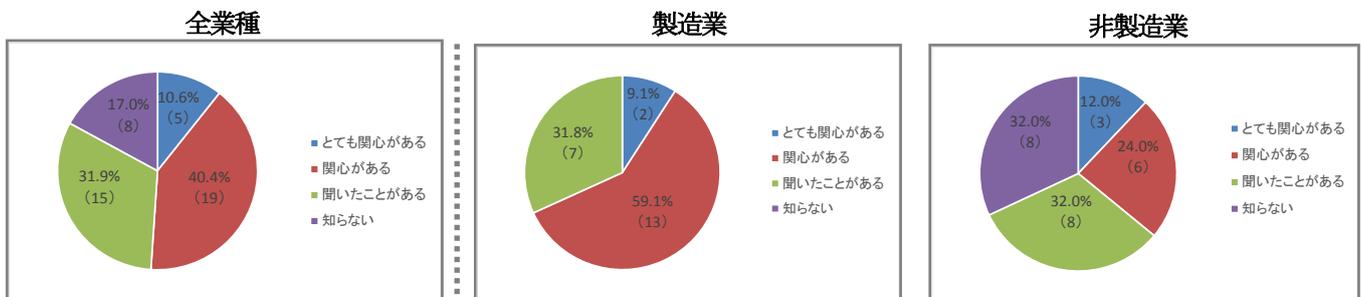
○製造業では、「**関心がある**」が**最も多く（59.1%）**、「聞いたことがある」（31.8%）、「とても関心がある」（9.1%）と続き、「**知らない**」との回答は**なかった**。期待する効果としては「生産効率向上」、「品質向上」、「保守・メンテナンスの効率化」が多かった。

○非製造業では、「**聞いたことがある**」と「**知らない**」が**共に32.0%**で最も多く、「関心がある」との回答が少なく、製造業と対照的であった。事業運営にあたり、設備・機器等が製造業より少ない業種が多いため、このような結果になったと考えられる。期待する効果としては、「消費者行動の把握」、「接客の効率化」が多かった。

【県内の中小企業者のIoTへの認識 まとめ】

- \* IoTへの関心では製造業と非製造業で傾向が分かれた（製造業では高いが非製造業では低い）。
- \* IoTへの取組みについては、差し迫った課題とは考えられていない。
- \* IoTに取り組む上での課題は、導入にあたっての具体的なものではなく、初期段階のものが多い  
 ⇒ IoTの具体的な構成や利用場面、効果がまだ浸透しているとは言えない。

① IoTへの関心度合い



② IoTへの取組みを自社の課題と考えているか？

製造業		非製造業	
将来的な課題	16	将来的な課題	10
課題とは感じていない	5	分からない	8
喫緊の課題	3	課題とは感じていない	5
		喫緊の課題	1

③ IoTに期待する効果

製造業		非製造業	
生産効率向上	16	消費者行動の把握	7
品質向上	10	接客の効率化	6
保守・メンテナンスの効率化	7	保守・メンテナンスの効率化	4
データ分析による高付加価値化	4	生産効率向上	2
消費者行動の把握	3	品質向上	2
開発・生産期間の短縮	2	データ分析による高付加価値化	1
接客の効率化	1	その他	4
その他	1		

④ IoTに取り組む上での課題

製造業		非製造業	
経営効果が分からない	8	コストが高い	8
社内に人材がない	8	何に取り組んでいいか分からない	7
何に取り組んでいいか分からない	6	社内に人材がない	7
コストが高い	5	経営効果が分からない	5
情報漏えい等の懸念	2	その他	2
その他	1		